

奈良女子大学 生物科学科・レスター大学国際交流企画 ー新春講演会と研究セミナーー

日 時：平成 24 年 1 月 6 日（金） 15:00~17:30

場 所：総合研究棟（理学系 A 棟）A201 教室

テーマ：奈良女子大学女性研究者共助支援事業本部との
共催による 奈良女子大学 生物科学科・レスター
大学国際交流企画 ー新春講演会と研究セミナーー

講 師：田仲加代子氏（英国レスター大学生化学教室講
師）

共 催：奈良女子大学女性研究者共助支援事業本部



【講演概要】

本学は 2006 年よりレスター大学と国際交流協定を結んでおり、本学生物科学科と College of Medicine, Biological Science and Psychology は過去 4 年にわたり活発な国際交流を続けている。毎年 5-8 名の大学院生がレスター大学を訪問、レスター大学からは学部生や Ph.D の学生が本学に滞在している。教員の交流も活発に行われている。田仲加代子さんは、現在レスター大学の講師であるが、東京大学理学系研究科博士課程で学位取得後、スイスで 3 年間、英国で 4 年間ポスドクとして研究し、その後東京大学で講師をした後 2006 年からレスター大学で研究を行っている。このような経歴をもつ田仲さんに、ご自分の仕事内容などを紹介していただきながら、修士／博士修了後の進路およびキャリア構築について語っていただいた。研究者としてこれまでの歩みをふり振り返りつつ、折々の悩み、喜び、進路を選ぶ中で何が必要で、どのように考えてきたのかなども話していただいた。仮説をたてて、それを実証する研究の面白さなど、研究の魅力を語りながら、学生たちにエールを送っていただいた。

講演の中では、しばしば学生たちに問いかけながら、研究者にもいろいろなケースがあることや、大学での講義の一端を紹介し、学生に質問して答えさせたりするなど、学生をよく惹き付けたお話であった。学生からは、英語をどのように習得したか、などの質問があり、英語で心配することはない、何とかかなるとのお返事に学生も少しほっとした様子であった。

講演の終了後、休憩時間中に自由な質疑をはさんで、研究セミナーをしていただいた。ご専門は、酵母の減数分裂期に生じる微小管構造のダイナミックな再編成の仕組みに関する研究である。減数分裂の間に起こる染色体の再分配機構は生命の本質と言ってもよい出来事である。体細胞分裂と減数分裂の微小管重合の動きを比較しながら、酵母の減数分裂の特定の時期に生じる微小管重合がどのような分子メカニズムによるのか、見事な電子顕微鏡による写真や顕微鏡のライブ映像を見せながら、その研究成果を語っていただいた。最後に、この研究が多くのグループとの共同作業の結果であることを述べ、いかに多くの研究者や大学院生によって研究が支えられてきたのか、人と人のつながりが大事であることをお話しになった。学生が将来の様々な可能性を考える上で有意義な講演会になったと思

われる。